

令和4年度 第4回  
さいたま市インターネット市民意識調査  
【調査報告書】

令和5年3月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課



# インターネット市民意識調査 【調査報告書】

## 目次

1	調査企画とサンプル構成	1
2	調査結果	3
	SC1. 居住地	4
	【さいたま市への愛着に関するアンケート】	5
	Q1. さいたま市が、知人友人にすすめたくなるようなまちだと思いか	5
	Q2. 知人友人にすすめたい、さいたま市の魅力（複数回答）	6
	【食品ロスに関するアンケート】	8
	Q3. 知っていた食品ロスの取組（複数回答）	8
	Q3. 知っていた食品ロスの取組（経年比較）	9
	Q4. ふだん食品ロス削減のためにしている工夫（複数回答）	10
	Q5. 食品ロス削減の工夫をするうえで妨げとなるもの（複数回答）	11
	【節水の意識と行動に関するアンケート】	12
	Q6. 節水を意識しているか	12
	Q7. 節水機器の購入経験	13
	Q8. 節水意識の変化	14
	【さいたま市内の道路整備に関するアンケート】	15
	Q9. さいたま市内で利用している主な交通手段（複数回答）	15
	Q10. Q9で選んだ交通手段を利用する主な目的（複数回答）	16
	Q11. さいたま市内の主要な道路の整備状況についてどう思うか	17
	Q12. どのような種類の道路の整備を積極的に進めていけばよいと思うか	18
	Q13. さいたま市内の幹線道路について、優先的に取り組んだほうがよい課題 （複数回答）	19
	【応急手当講習に関するアンケート】	20
	Q14. さいたま市が開催する応急手当講習の受講率	20
	Q15. さいたま市が開催する応急手当講習の認知経路（複数回答）	21
	Q16. 「応急手当普及員」資格の取得意向	22
	Q17. 講習受講料が有料となった場合の参加意向／1. 応急手当講習	23
	Q17. 講習受講料が有料となった場合の参加意向／2. 応急手当普及員講習	23
	【成年後見制度に関するアンケート】	24
	Q18. 成年後見制度の認知度	24
	Q19. 今後、成年後見制度を利用したいか	25
	Q20. 成年後見制度について不安に思うこと（複数回答）	26
3	調査票（アンケート画面）	27



# 1 調査企画とサンプル構成

### 1-1 調査目的

市が事業を推進するにあたり、迅速に市民意識を把握することができるよう、インターネットを活用した市民意識調査を実施する。

### 1-2 調査地域

さいたま市

### 1-3 調査対象者

対象者条件：さいたま市在住の18歳～69歳の男女

18～29歳、30代、40代、50代、60代の5年齢層において、各年齢層の男女各100サンプル、合計1,000サンプルを対象とする。

### 1-4 有効回答数

無作為配信により、合計1,000サンプルを回収した。

(人)

	18～29歳	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

(参考) なお、各区の有効回答数は下表の通りである。

(人)

さいたま市	男性						女性						合計
	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	18-29歳	30代	40代	50代	60代	計	
西区	9	6	7	4	7	33	7	8	5	5	5	30	63
北区	13	11	19	15	18	76	10	16	12	13	11	62	138
大宮区	10	13	7	5	7	42	7	12	7	9	7	42	84
見沼区	7	7	10	11	10	45	12	11	14	11	11	59	104
中央区	12	10	3	10	8	43	10	13	6	10	8	47	90
桜区	7	9	8	9	6	39	7	5	7	7	9	35	74
浦和区	10	15	17	18	17	77	18	15	16	18	19	86	163
南区	16	18	17	20	11	82	16	7	15	11	13	62	144
緑区	9	6	9	5	11	40	6	8	9	7	13	43	83
岩槻区	7	5	3	3	5	23	7	5	9	9	4	34	57
合計	100	100	100	100	100	500	100	100	100	100	100	500	1000

### 1-5 調査方法

インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）

### 1-6 実施時期

令和5年2月3日（金）～2月5日（日）

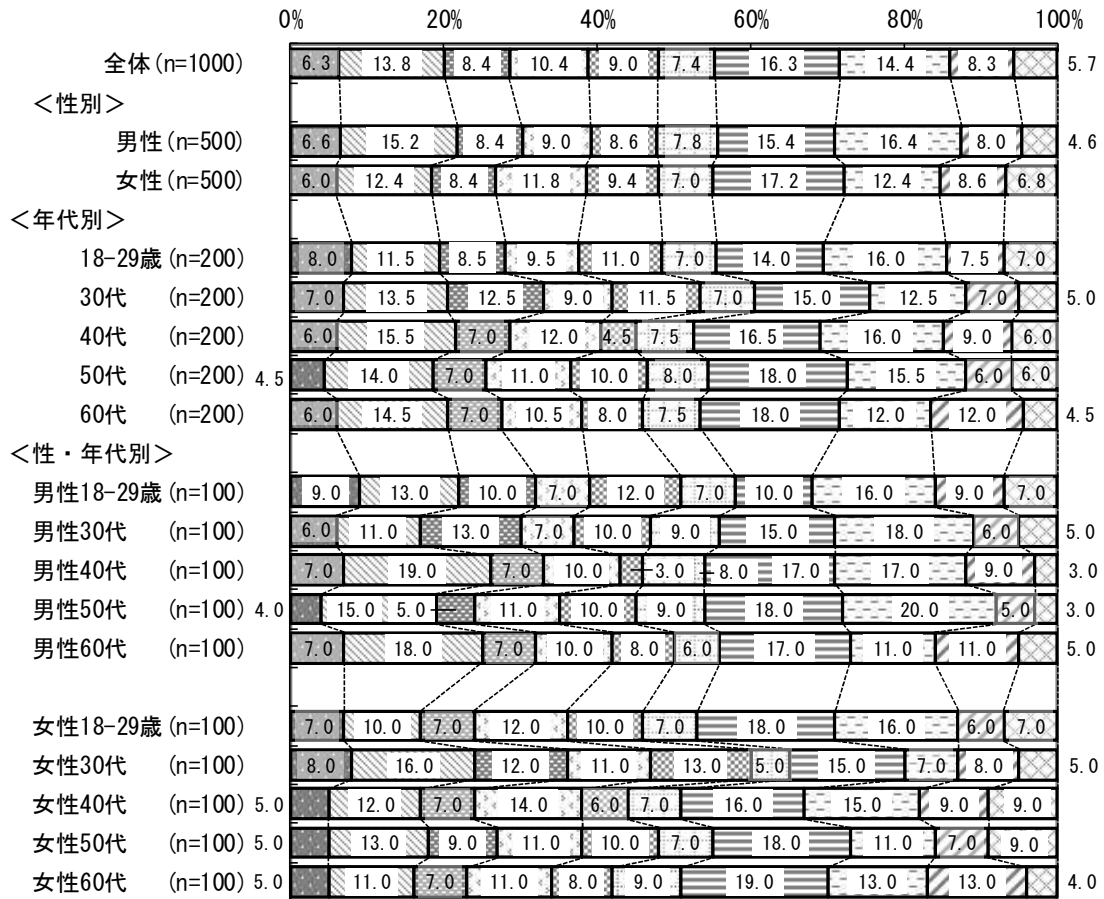
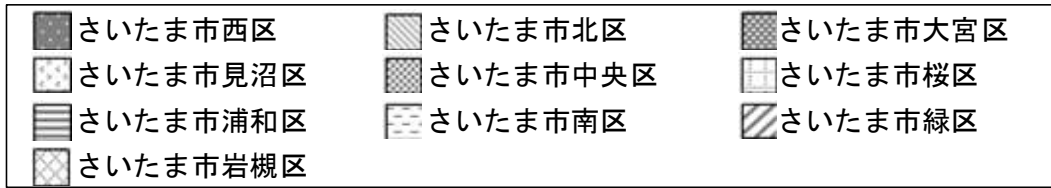
### 1-7 調査実施機関

株式会社サーベイリサーチセンター

## 2 調査結果

### SC1. 居住地

あなたのお住まいをお答えください。

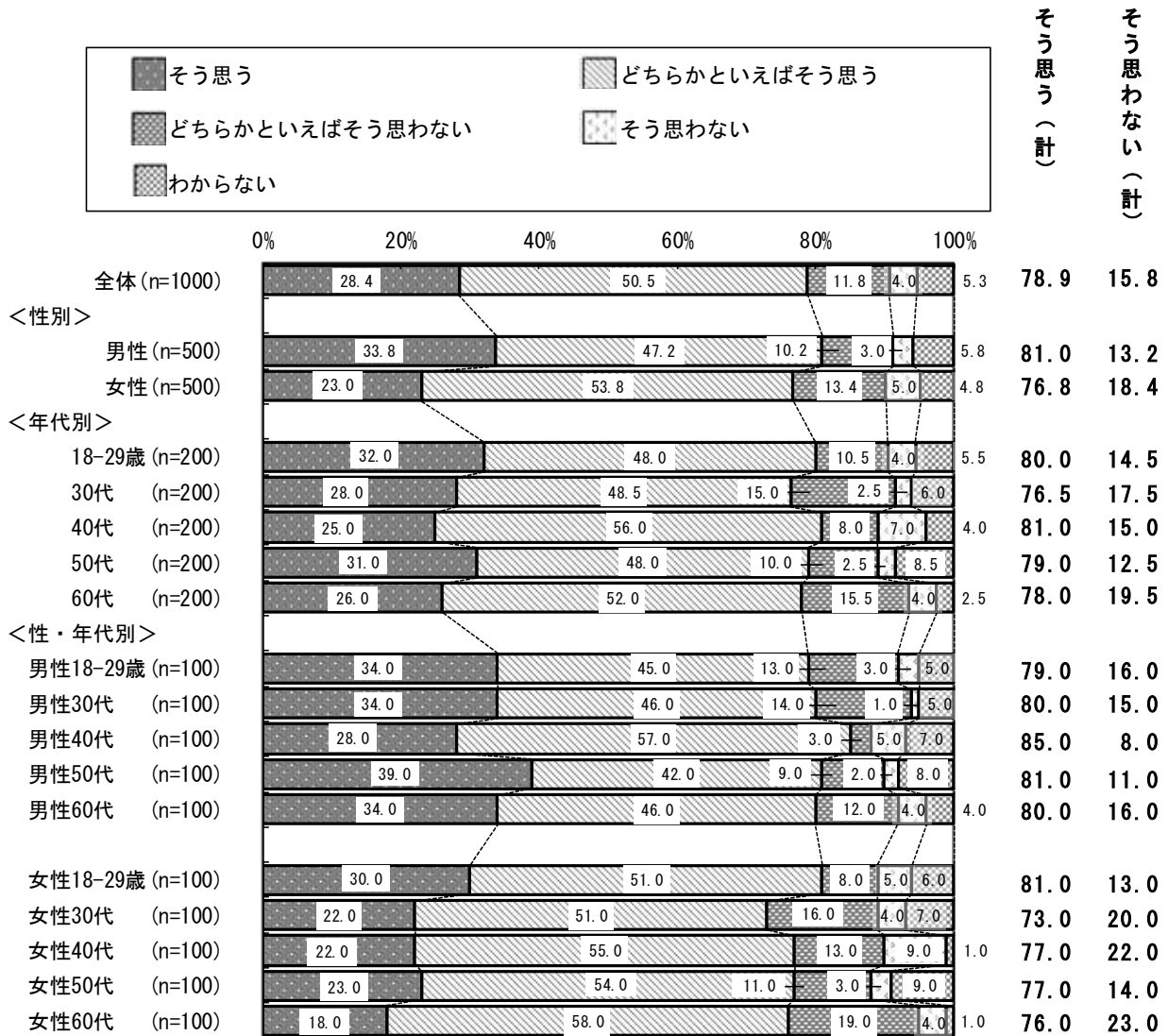




【さいたま市への愛着に関するアンケート】

Q1. さいたま市が、知人友人におすすめしたくなるようなまちだと思うか

あなたは、さいたま市が、知人友人におすすめしたくなるようなまちだと思いますか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



【全体結果】「そう思う」(28%)と「どちらかといえばそう思う」(51%)を合わせた『そう思う (計)』は、79%であった。

◎性別で見ると、『そう思う (計)』は、男性 (81%) が女性 (77%) よりも4ポイント高かった。

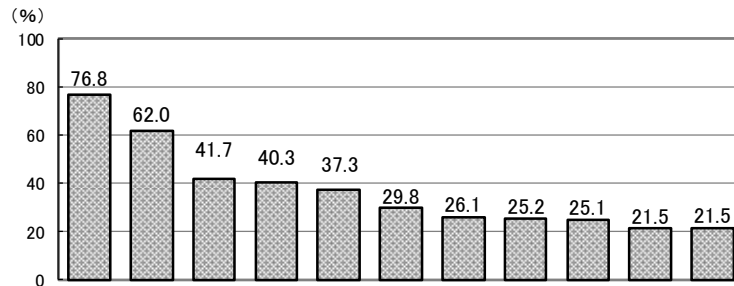
◎性・年代別で見ると、「そう思う」は、女性では年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で30%となった。

(Q1で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を回答した人が対象)

**Q2. 知人友人におすすめしたい、さいたま市の魅力 (複数回答) (1/2)**

あなたは、知人友人に、さいたま市のどのような魅力をおすすめしたいですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	交通の便のよさ	買い物のしやすさ	治安のよさ	自然災害の少なさ	大型商業施設の充実	教育環境のよさ	自然の豊かさ	子育てのしやすさ	飲食店の充実	医療の充実	公園の充実	
全体(n=789)	76.8	62.0	41.7	40.3	37.3	29.8	26.1	25.2	25.1	21.5	21.5	
性別	男性(n=405)	76.3	59.8	40.5	37.0	35.1	31.4	24.9	20.2	20.5	22.2	
	女性(n=384)	77.1	64.3	43.0	43.8	39.6	28.1	27.3	30.2	22.7	20.8	
年代別	18-29歳(n=160)	75.6	55.0	45.0	28.1	38.8	25.0	25.6	28.1	16.3	20.6	
	30代 (n=153)	76.5	60.1	43.8	26.8	43.1	23.5	22.9	26.8	20.3	26.8	
	40代 (n=162)	76.5	61.7	37.7	41.4	35.2	29.6	21.0	29.6	21.0	24.1	
	50代 (n=158)	77.8	69.0	39.2	47.5	32.9	34.8	26.6	23.4	25.9	27.8	15.8
	60代 (n=156)	76.9	64.1	42.9	57.7	36.5	35.9	34.6	23.7	16.7	22.4	20.5
性・年代別	男性18-29歳(n=79)	74.7	50.6	45.6	27.8	39.2	29.1	27.8	21.5	24.1	16.5	27.8
	男性30代 (n=80)	71.3	52.5	41.3	21.3	38.8	21.3	18.8	25.0	17.5	17.5	27.5
	男性40代 (n=85)	81.2	58.8	34.1	36.5	30.6	28.2	18.8	29.4	22.4	18.8	16.5
	男性50代 (n=81)	77.8	70.4	37.0	44.4	28.4	38.3	23.5	23.5	22.2	29.6	19.8
	男性60代 (n=80)	76.3	66.3	45.0	55.0	38.8	40.0	36.3	25.0	15.0	20.0	20.0
	女性18-29歳(n=81)	76.5	59.3	44.4	28.4	38.3	21.0	23.5	23.5	32.1	16.0	13.6
	女性30代 (n=73)	82.2	68.5	46.6	32.9	47.9	26.0	27.4	28.8	34.2	23.3	26.0
	女性40代 (n=77)	71.4	64.9	41.6	46.8	40.3	31.2	23.4	29.9	36.4	23.4	32.5
	女性50代 (n=77)	77.9	67.5	41.6	50.6	37.7	31.2	29.9	23.4	29.9	26.0	11.7
	女性60代 (n=76)	77.6	61.8	40.8	60.5	34.2	31.6	32.9	22.4	18.4	25.0	21.1

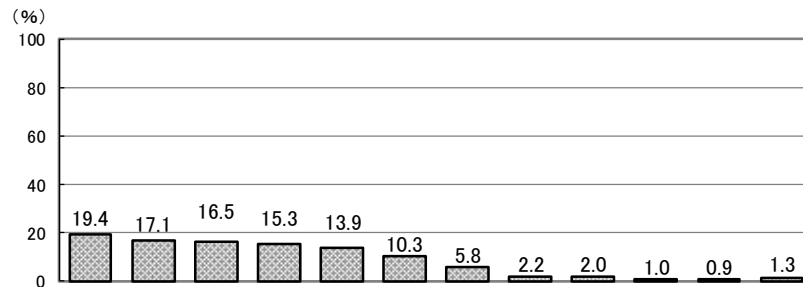
**【全体結果】「交通の便のよさ」が77%で最も高く、「買い物のしやすさ」(62%)、「治安のよさ」(42%)が続いた。**

◎性別で見ると、「自然災害の少なさ」、「大型商業施設の充実」、「飲食店の充実」、「公共施設の利用のしやすさ」、「コンサートやイベントの充実」、「スイーツ店の充実」は、女性が男性よりも5ポイント以上高かった。

◎年代別で見ると、「自然災害の少なさ」は、女性では年代が上がるにつれ高くなり、60代で61%となった。

(Q1で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を回答した人が対象)

Q2. 知人友人におすすめしたい、さいたま市の魅力 (複数回答) (2/2)



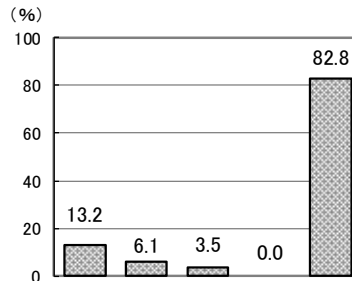
	公共施設の利用のしやすさ	住民のマナーがよいこと	コンサートやイベントの充実	スポーツが盛んであること	文化・芸術を楽しめるスポットが多い	スイーツ店の充実	農産物の充実	市内を盛り上げる魅力的な活動をしている人や団体	市外から人が来る観光スポットが多い	さいたま市出身の著名人	その他	わからない	
全体(n=789)	19.4	17.1	16.5	15.3	13.9	10.3	5.8	2.2	2.0	1.0	0.9	1.3	
性別	男性(n=405)	16.3	16.0	13.6	16.5	12.1	6.4	5.2	1.5	2.0	1.0	1.2	0.7
	女性(n=384)	22.7	18.2	19.5	14.1	15.9	14.3	6.5	2.9	2.1	1.0	0.8	1.8
年代別	18-29歳(n=160)	18.1	10.0	12.5	13.1	11.9	11.3	5.0	2.5	3.1	1.3	1.9	1.3
	30代 (n=153)	20.9	17.0	15.0	17.6	13.1	9.8	3.9	3.3	2.6	0.0	0.7	0.7
	40代 (n=162)	16.0	16.7	16.0	14.8	14.8	11.1	4.9	2.5	2.5	2.5	0.6	1.9
	50代 (n=158)	19.0	19.0	25.3	18.4	13.3	10.1	7.0	1.3	0.0	0.6	0.6	2.5
	60代 (n=156)	23.1	23.1	13.5	12.8	16.7	9.0	8.3	1.3	1.9	0.6	1.3	0.0
性・年代別	男性18-29歳(n=79)	17.7	11.4	11.4	13.9	11.4	7.6	5.1	2.5	3.8	2.5	0.0	1.3
	男性30代 (n=80)	18.8	20.0	11.3	17.5	13.8	6.3	5.0	3.8	2.5	0.0	1.3	0.0
	男性40代 (n=85)	11.8	12.9	9.4	16.5	9.4	5.9	5.9	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	男性50代 (n=81)	13.6	14.8	24.7	23.5	12.3	4.9	3.7	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2
	男性60代 (n=80)	20.0	21.3	11.3	11.3	13.8	7.5	6.3	0.0	2.5	1.3	2.5	0.0
	女性18-29歳(n=81)	18.5	8.6	13.6	12.3	12.3	14.8	4.9	2.5	2.5	0.0	3.7	1.2
	女性30代 (n=73)	23.3	13.7	19.2	17.8	12.3	13.7	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0	1.4
	女性40代 (n=77)	20.8	20.8	23.4	13.0	20.8	16.9	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0	2.6
	女性50代 (n=77)	24.7	23.4	26.0	13.0	14.3	15.6	10.4	2.6	0.0	1.3	0.0	3.9
	女性60代 (n=76)	26.3	25.0	15.8	14.5	19.7	10.5	10.5	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0

**【食品ロスに関するアンケート】**

**Q3. 知っていた食品ロスの取組（複数回答）**

さいたま市では、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品）削減のため、以下のような取組を行っています。

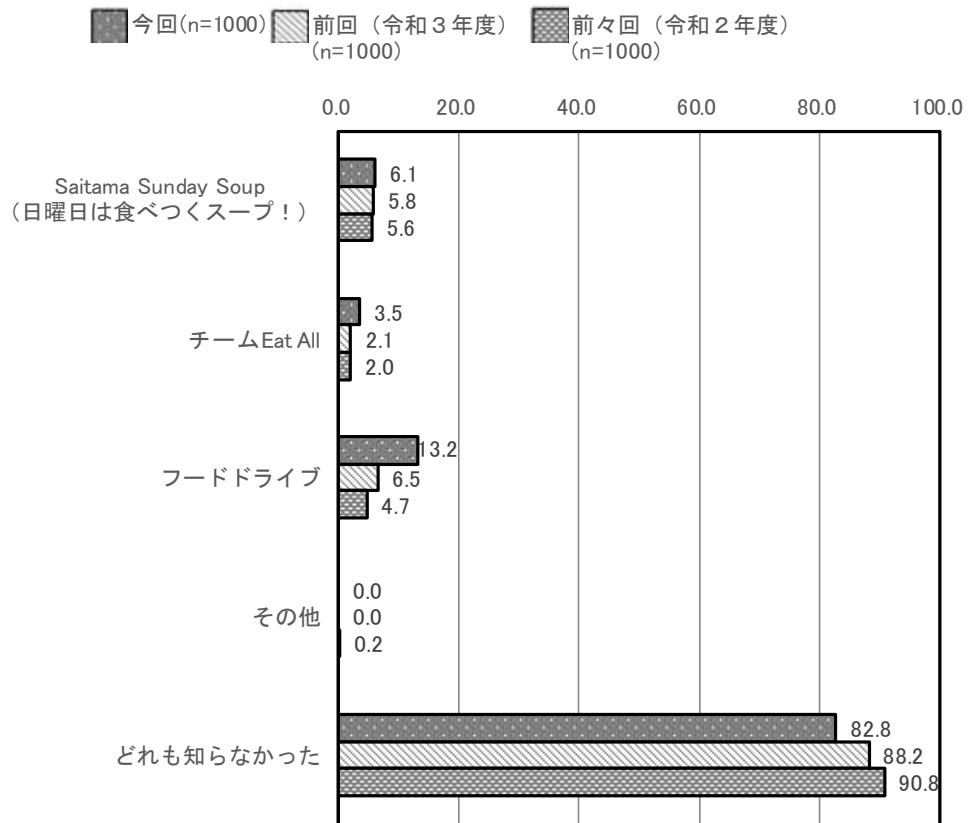
以下の中から、知っていた取組をすべて選んでください。



		フードドライブ	Saitama Sunday Soup (日曜日は食べつくスープ!)	チームEat All	その他	どれも知らなかった
全体(n=1000)		13.2	6.1	3.5	0.0	82.8
性別	男性(n=500)	11.4	6.0	4.2	0.0	85.0
	女性(n=500)	15.0	6.2	2.8	0.0	80.6
年代別	18-29歳(n=200)	16.5	11.0	6.5	0.0	77.0
	30代 (n=200)	12.5	6.0	4.0	0.0	82.5
	40代 (n=200)	12.5	6.0	2.5	0.0	82.5
	50代 (n=200)	9.0	2.5	1.0	0.0	90.0
	60代 (n=200)	15.5	5.0	3.5	0.0	82.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	17.0	14.0	9.0	0.0	74.0
	男性30代 (n=100)	13.0	5.0	6.0	0.0	83.0
	男性40代 (n=100)	11.0	4.0	2.0	0.0	87.0
	男性50代 (n=100)	7.0	1.0	0.0	0.0	93.0
	男性60代 (n=100)	9.0	6.0	4.0	0.0	88.0
	女性18-29歳(n=100)	16.0	8.0	4.0	0.0	80.0
	女性30代 (n=100)	12.0	7.0	2.0	0.0	82.0
	女性40代 (n=100)	14.0	8.0	3.0	0.0	78.0
	女性50代 (n=100)	11.0	4.0	2.0	0.0	87.0
	女性60代 (n=100)	22.0	4.0	3.0	0.0	76.0

**【全体結果】「フードドライブ」が13%で最も高く、「Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくスープ!）」（6%）、「チームEat All」（4%）が続いた。**  
**一方、「どれも知らなかった」は、83%であった。**

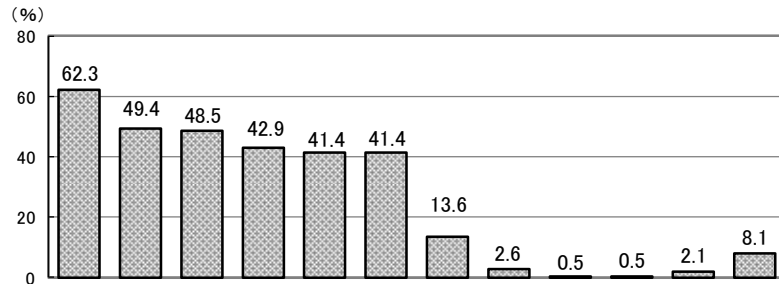
### Q3. 知っていた食品ロスの取組（経年比較）



**【比較結果】**過去の同様の調査結果と比較すると、「フードドライブ」(13%)は、前回の調査結果(7%)よりも6ポイント増加した。  
一方、「どれも知らなかった」(83%)は、前回の調査結果(88%)よりも5ポイント減少した。

#### Q4. ふだん食品ロス削減のためにやっている工夫（複数回答）

あなたは、ふだん食品ロス削減のため、どのような工夫をしていますか。  
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		食べきれぬ量だけ買うようにしている	食材が傷む前に食べきるようにしている	冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している	外食時に食べきれぬ量だけ注文している	食べきれぬ量だけ作るようにしている	余った食材も調理して使いきるようにしている	お店の近いものを買おうようにしている、賞味期限の近いものを減らすために、賞味	フードドライブを利用している	フードシェアリングサービスで買い物	その他	覚えていない／わからない	取り組んでいない
全体(n=1000)		62.3	49.4	48.5	42.9	41.4	41.4	13.6	2.6	0.5	0.5	2.1	8.1
性別	男性(n=500)	58.8	42.0	42.4	40.4	35.8	32.4	10.4	3.4	0.4	0.4	2.4	11.2
	女性(n=500)	65.8	56.8	54.6	45.4	47.0	50.4	16.8	1.8	0.6	0.6	1.8	5.0
年代別	18-29歳(n=200)	59.0	38.5	42.0	45.0	41.0	31.5	16.5	6.5	2.0	0.0	5.0	10.0
	30代 (n=200)	58.5	46.0	44.5	45.0	43.5	38.0	12.0	3.0	0.5	1.0	1.5	11.0
	40代 (n=200)	60.0	51.5	48.5	42.5	35.5	43.0	15.0	1.0	0.0	1.0	0.5	8.5
	50代 (n=200)	65.5	53.0	47.5	40.5	40.0	41.5	11.5	1.0	0.0	0.0	1.5	7.0
	60代 (n=200)	68.5	58.0	60.0	41.5	47.0	53.0	13.0	1.5	0.0	0.5	2.0	4.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	57.0	35.0	37.0	43.0	41.0	32.0	14.0	11.0	2.0	0.0	4.0	11.0
	男性30代 (n=100)	55.0	39.0	37.0	40.0	36.0	29.0	11.0	4.0	0.0	0.0	3.0	17.0
	男性40代 (n=100)	58.0	46.0	46.0	40.0	29.0	33.0	9.0	0.0	0.0	2.0	1.0	12.0
	男性50代 (n=100)	63.0	43.0	38.0	39.0	31.0	28.0	9.0	0.0	0.0	0.0	2.0	9.0
	男性60代 (n=100)	61.0	47.0	54.0	40.0	42.0	40.0	9.0	2.0	0.0	0.0	2.0	7.0
	女性18-29歳(n=100)	61.0	42.0	47.0	47.0	41.0	31.0	19.0	2.0	2.0	0.0	6.0	9.0
	女性30代 (n=100)	62.0	53.0	52.0	50.0	51.0	47.0	13.0	2.0	1.0	2.0	0.0	5.0
	女性40代 (n=100)	62.0	57.0	51.0	45.0	42.0	53.0	21.0	2.0	0.0	0.0	0.0	5.0
女性50代 (n=100)	68.0	63.0	57.0	42.0	49.0	55.0	14.0	2.0	0.0	0.0	1.0	5.0	
女性60代 (n=100)	76.0	69.0	66.0	43.0	52.0	66.0	17.0	1.0	0.0	1.0	2.0	1.0	

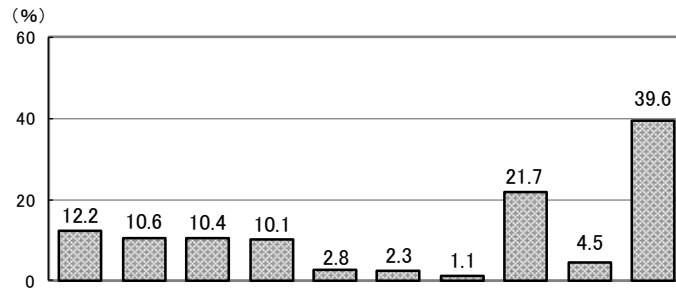
**【全体結果】「食べきれぬ量だけ買うようにしている」が62%で最も高く、「食材が傷む前に食べきるようにしている」、「冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している」（ともに49%）が続いた。**

◎性別で見ると、多くの項目で、女性が男性よりも高かった。

◎年代別で見ると、「食材が傷む前に食べきるようにしている」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で58%となった。

**Q5. 食品ロス削減の工夫をするうえで妨げとなるもの（複数回答）**

あなたが、食品ロス削減の工夫をするうえで、妨げとなるものは何ですか。  
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		お金がかかりそう	時間がない	やり方がわからない	気が進まない・面倒	メリットがわからない	食品ロスが何なのかよくわからない	その他	そもそも食品ロスが出ない	覚えていない／わからない	妨げとなるものはない
全体(n=1000)		12.2	10.6	10.4	10.1	2.8	2.3	1.1	21.7	4.5	39.6
性別	男性(n=500)	15.2	11.8	13.4	13.4	4.4	3.0	1.0	21.2	4.8	34.4
	女性(n=500)	9.2	9.4	7.4	6.8	1.2	1.6	1.2	22.2	4.2	44.8
年代別	18-29歳(n=200)	19.5	13.5	13.5	16.5	4.5	5.5	1.0	17.5	2.5	34.5
	30代 (n=200)	16.0	14.0	15.0	14.5	3.5	1.0	1.5	24.0	5.0	29.0
	40代 (n=200)	9.0	12.5	9.5	5.5	1.5	1.5	1.5	24.5	7.0	35.5
	50代 (n=200)	9.5	8.0	10.0	9.5	1.5	1.5	1.0	18.5	4.5	46.5
	60代 (n=200)	7.0	5.0	4.0	4.5	3.0	2.0	0.5	24.0	3.5	52.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	20.0	18.0	19.0	19.0	6.0	7.0	0.0	17.0	2.0	33.0
	男性30代 (n=100)	19.0	13.0	21.0	22.0	7.0	1.0	2.0	27.0	4.0	22.0
	男性40代 (n=100)	12.0	12.0	8.0	5.0	1.0	1.0	1.0	22.0	8.0	37.0
	男性50代 (n=100)	14.0	9.0	13.0	13.0	2.0	3.0	1.0	18.0	4.0	38.0
	男性60代 (n=100)	11.0	7.0	6.0	8.0	6.0	3.0	1.0	22.0	6.0	42.0
	女性18-29歳(n=100)	19.0	9.0	8.0	14.0	3.0	4.0	2.0	18.0	3.0	36.0
	女性30代 (n=100)	13.0	15.0	9.0	7.0	0.0	1.0	1.0	21.0	6.0	36.0
	女性40代 (n=100)	6.0	13.0	11.0	6.0	2.0	2.0	2.0	27.0	6.0	34.0
	女性50代 (n=100)	5.0	7.0	7.0	6.0	1.0	0.0	1.0	19.0	5.0	55.0
	女性60代 (n=100)	3.0	3.0	2.0	1.0	0.0	1.0	0.0	26.0	1.0	63.0

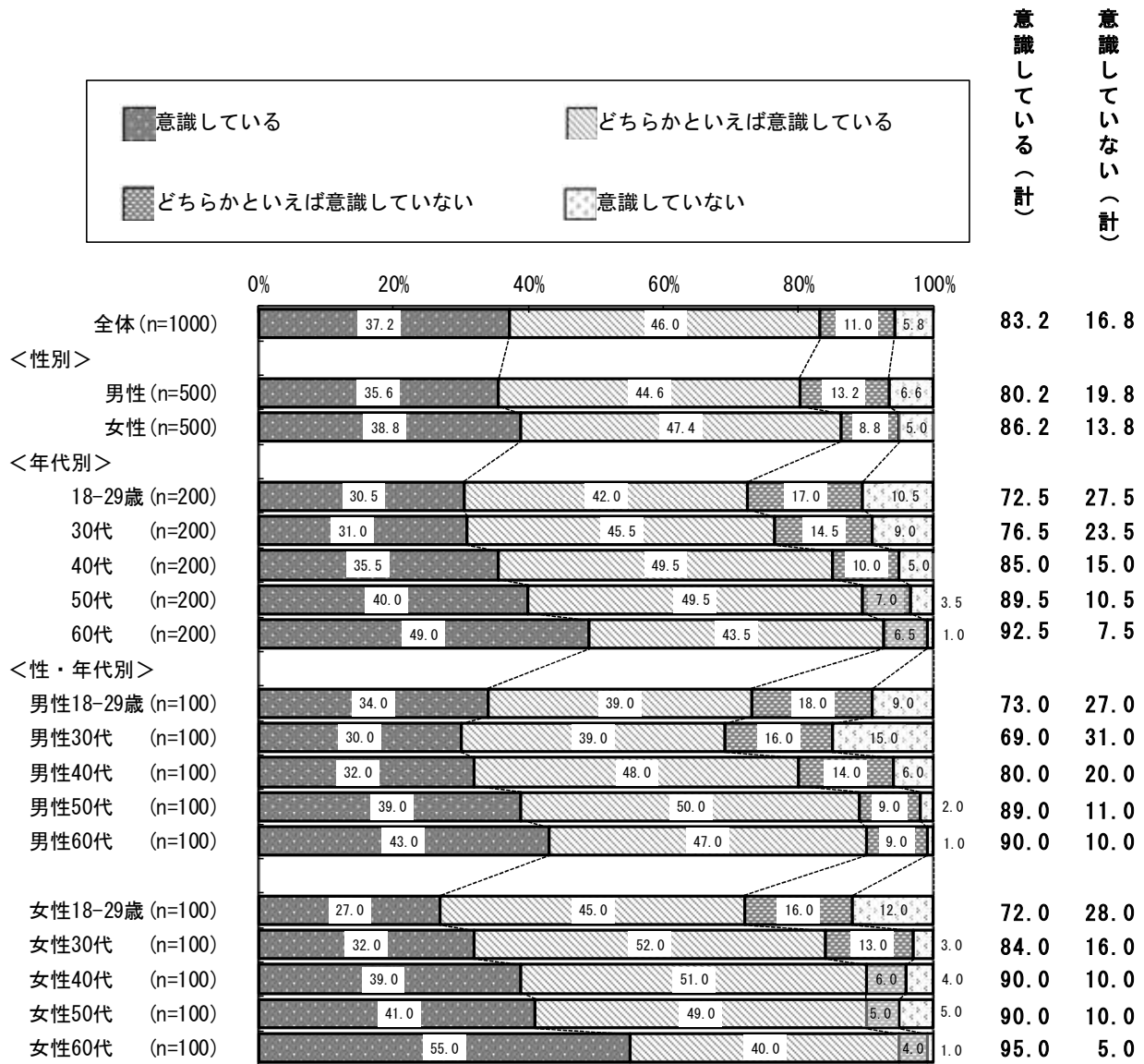
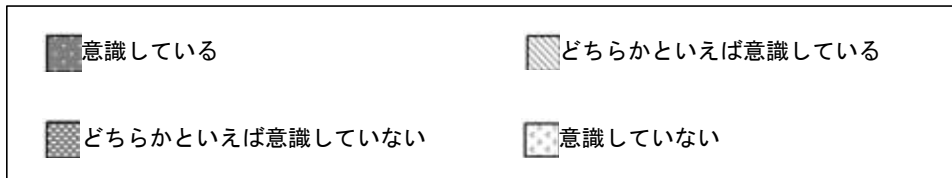
**【全体結果】「お金がかかりそう」が12%で最も高く、「時間がない」(11%)、「やり方がわからない」、「気が進まない・面倒」(ともに10%)が続いた。  
一方、「妨げとなるものはない」は、40%であった。**

- ◎性別で見ると、「妨げとなるものはない」は、女性(45%)が男性(34%)よりも11ポイント高かった。
- ◎性・年代別で見ると、「時間がない」は、男性では年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で18%となった。

【節水の意識と行動に関するアンケート】

Q6. 節水を意識しているか

あなたは、ふだんから節水を意識していますか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



【全体結果】「意識している」(37%)と「どちらかといえば意識している」(46%)を合わせた『意識している (計)』は、83%であった。

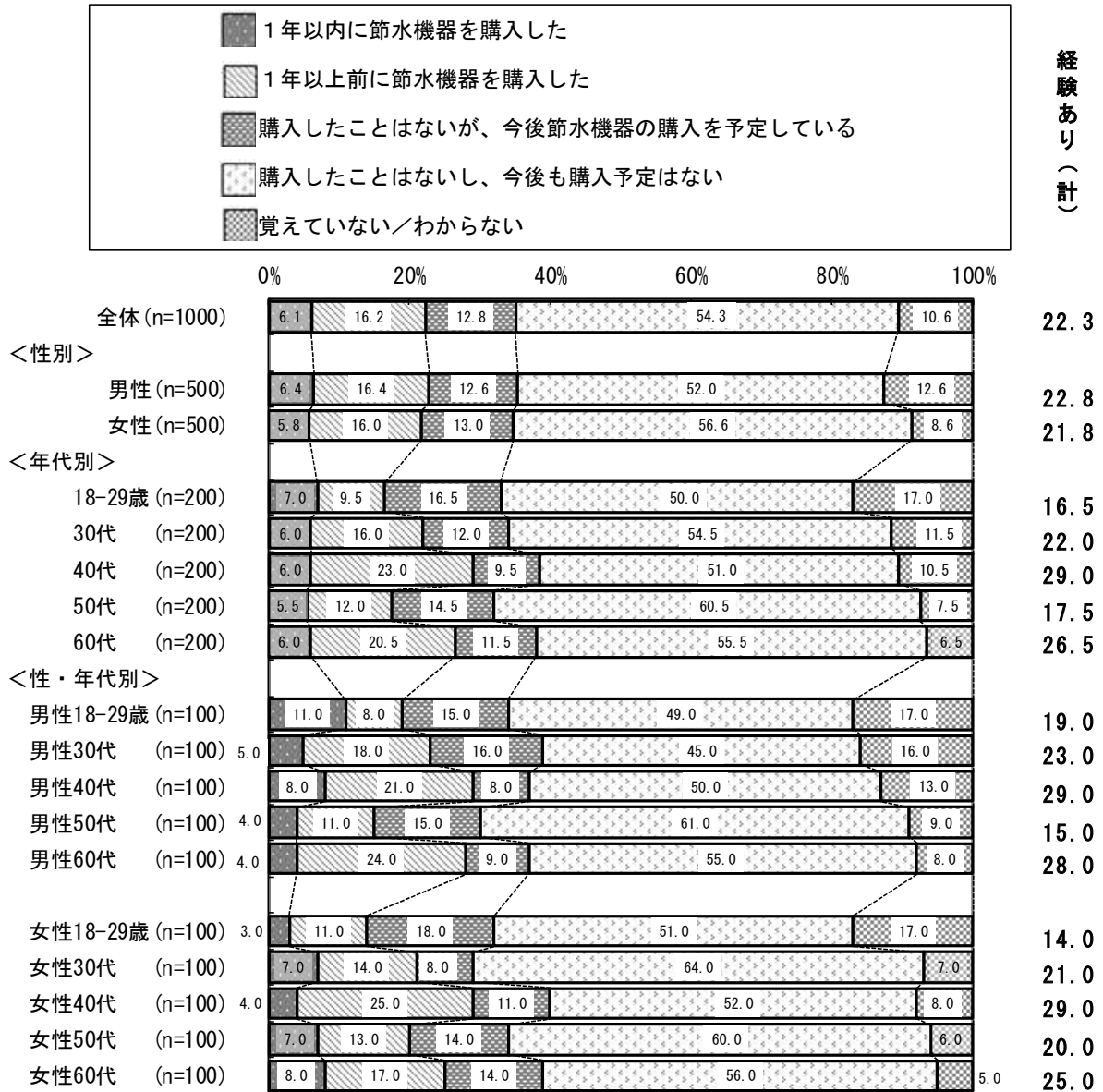
◎性別で見ると、『意識している (計)』は、女性 (86%) が男性 (80%) よりも6ポイント高かった。

◎年代別で見ると、『意識している (計)』は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で93%となった。



### Q7. 節水機器の購入経験

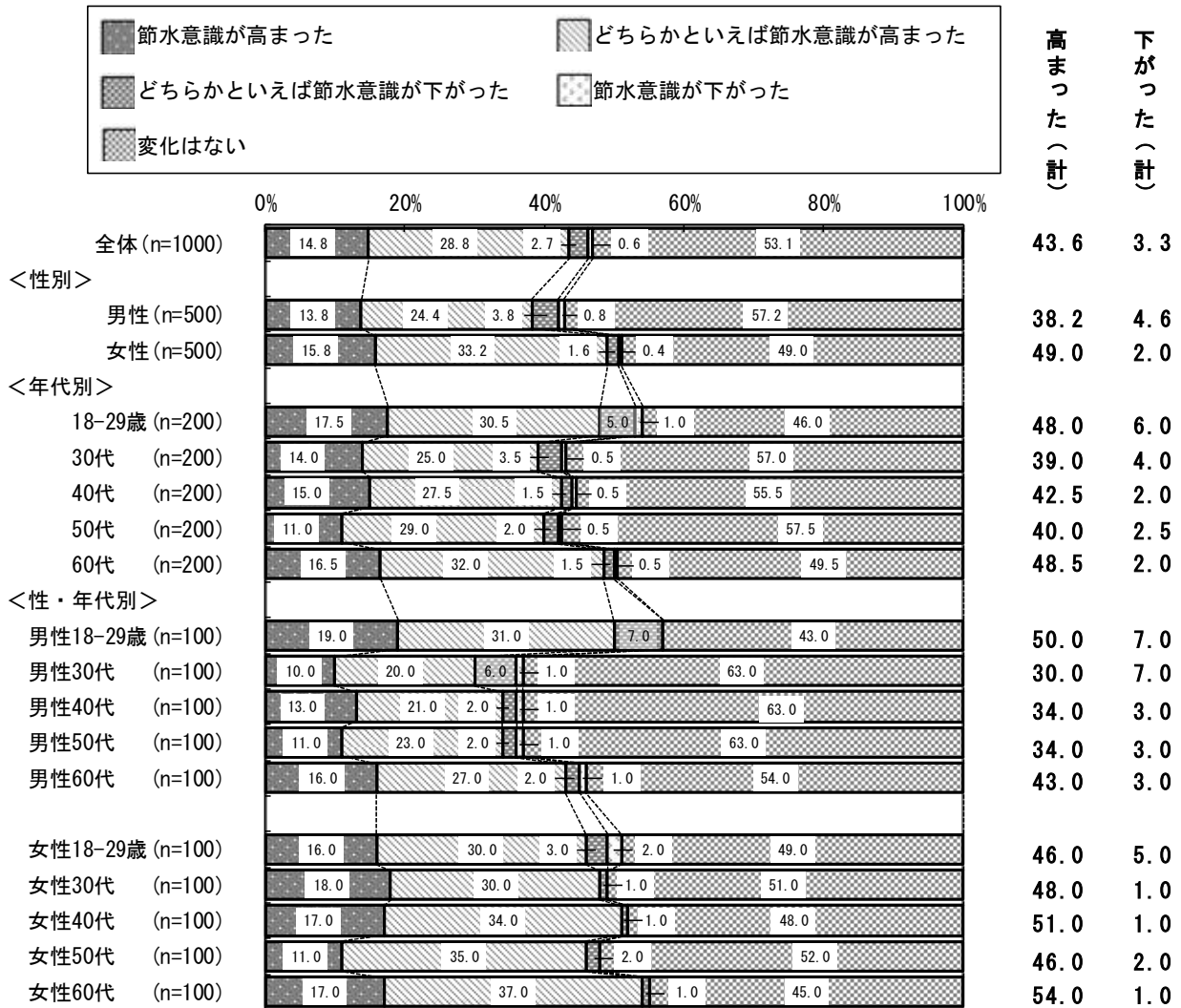
あなたは、節水機器を購入したことがありますか。  
 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。  
 複数回購入したことがある場合は、直近の購入についてお答えください。



**【全体結果】**「1年以内に節水機器を購入した」(6%)と「1年以上前に節水機器を購入した」(16%)を合わせた『経験あり(計)』は、22%であった。

### Q8. 節水意識の変化

あなたは、昨年同時期（令和4年2月頃）に比べ、節水意識に変化はありましたか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



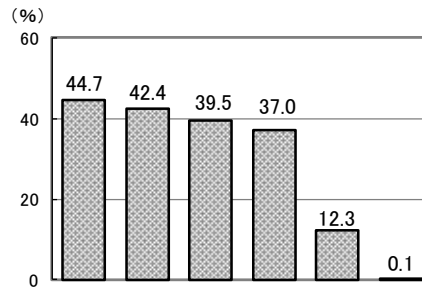
【全体結果】「節水意識が高まった」(15%)と「どちらかといえば節水意識が高まった」(29%)を合わせた『高まった(計)』は、44%であった。

◎性別で見ると、『高まった(計)』は、女性(49%)が男性(38%)よりも11ポイント高かった。

**【さいたま市内の道路整備に関するアンケート】**

**Q9. さいたま市内で利用している主な交通手段（複数回答）**

あなたが、ふだんさいたま市内で利用している主な交通手段は何ですか。  
以下の中から、あてはまるものを2つまで選んでください。



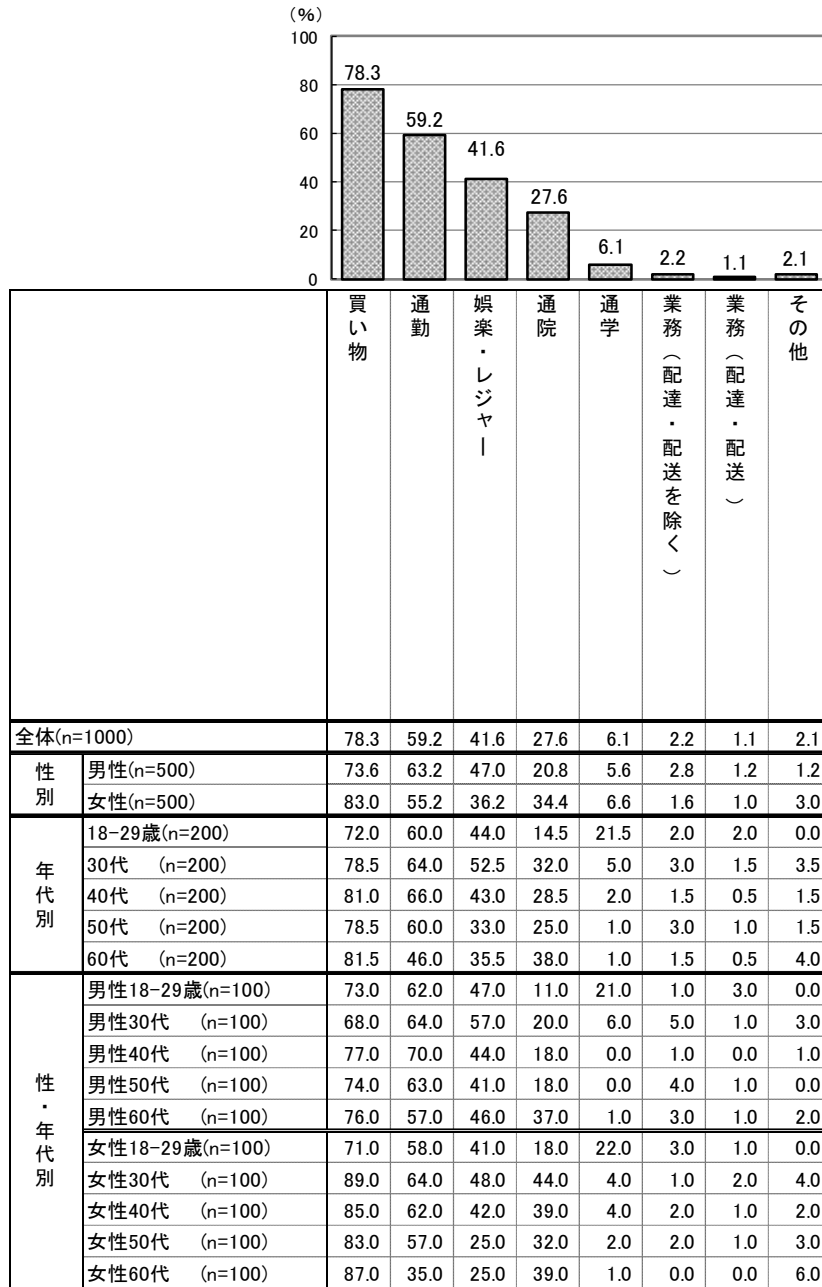
		自動車、バイク	鉄道	徒歩	自転車	バス	その他
全体(n=1000)		44.7	42.4	39.5	37.0	12.3	0.1
性別	男性(n=500)	49.4	50.0	32.4	31.2	11.2	0.2
	女性(n=500)	40.0	34.8	46.6	42.8	13.4	0.0
年代別	18-29歳(n=200)	32.0	58.0	46.0	31.5	10.5	0.0
	30代 (n=200)	40.5	47.0	38.0	40.0	14.5	0.0
	40代 (n=200)	53.0	35.5	28.5	45.0	8.0	0.0
	50代 (n=200)	50.0	41.5	38.5	34.0	12.5	0.5
	60代 (n=200)	48.0	30.0	46.5	34.5	16.0	0.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	39.0	63.0	33.0	34.0	9.0	0.0
	男性30代 (n=100)	42.0	57.0	29.0	34.0	14.0	0.0
	男性40代 (n=100)	51.0	51.0	24.0	38.0	6.0	0.0
	男性50代 (n=100)	57.0	43.0	38.0	22.0	14.0	1.0
	男性60代 (n=100)	58.0	36.0	38.0	28.0	13.0	0.0
	女性18-29歳(n=100)	25.0	53.0	59.0	29.0	12.0	0.0
	女性30代 (n=100)	39.0	37.0	47.0	46.0	15.0	0.0
	女性40代 (n=100)	55.0	20.0	33.0	52.0	10.0	0.0
	女性50代 (n=100)	43.0	40.0	39.0	46.0	11.0	0.0
	女性60代 (n=100)	38.0	24.0	55.0	41.0	19.0	0.0

**【全体結果】「自動車、バイク」が45%で最も高く、「鉄道」(42%)、「徒歩」(40%)が続いた。**

◎性別で見ると、「自転車、バイク」、「鉄道」は、男性が女性よりも高く、「徒歩」、「自転車」は、女性が男性よりも高かった。

**Q10. Q9で選んだ交通手段を利用する主な目的（複数回答）**

あなたが、Q9で選んだ交通手段を利用する主な目的は何ですか。  
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



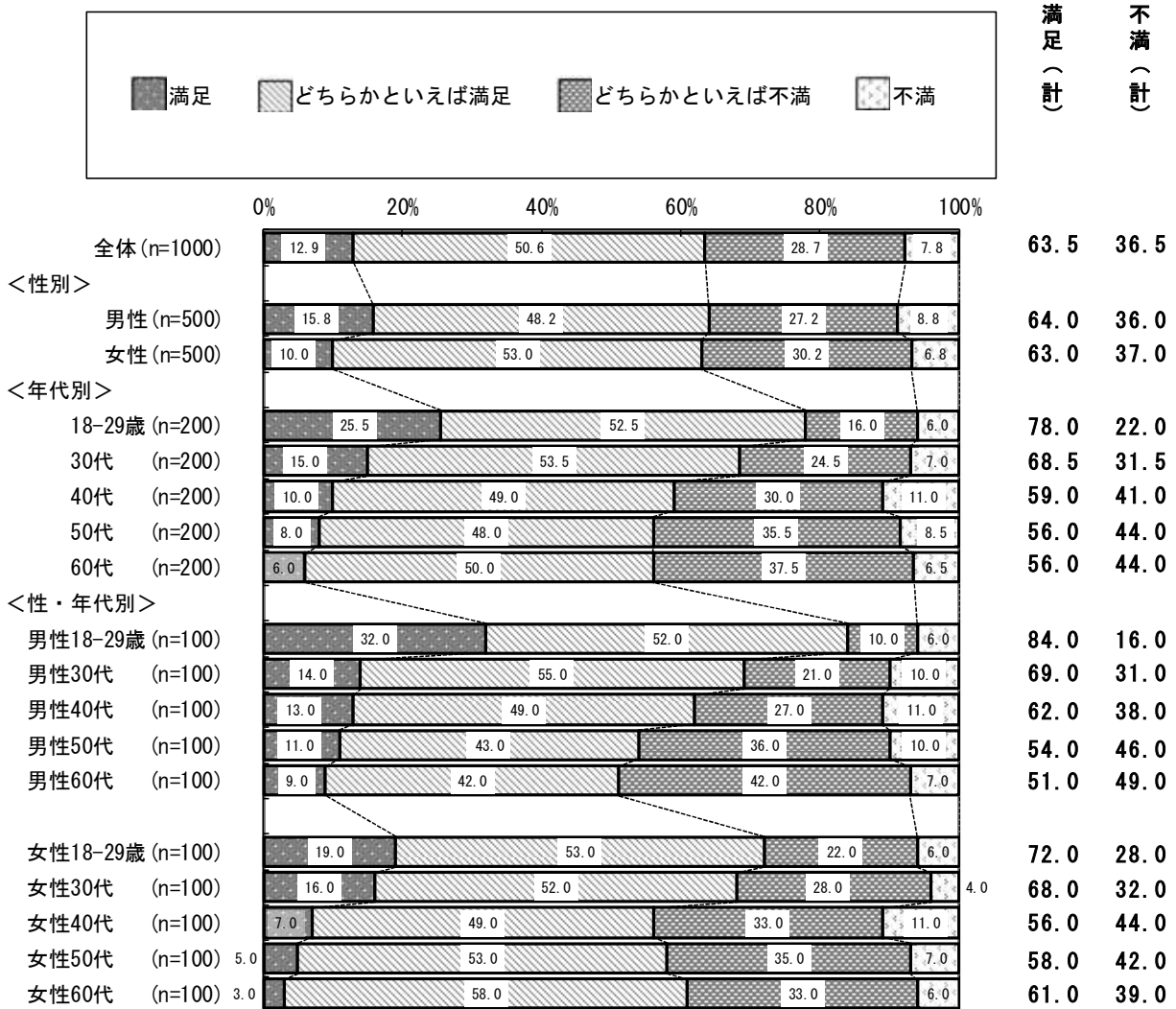
**【全体結果】「買い物」が78%で最も高く、「通勤」(59%)、「娯楽・レジャー」(42%)が続いた。**

- ◎性別で見ると、「娯楽・レジャー」は、男性(47%)が女性(36%)よりも11ポイント高く、「通院」は、女性(34%)が男性(21%)よりも13ポイント高かった。
- ◎年代別で見ると、「娯楽・レジャー」は、30代(53%)のみ5割を超えた。

**Q 1 1. さいたま市内の主要な道路の整備状況についてどう思うか**

あなたは、現在のさいたま市内の主要な道路(国、県道や交通量の多い市道)の整備状況についてどう思いますか。

以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



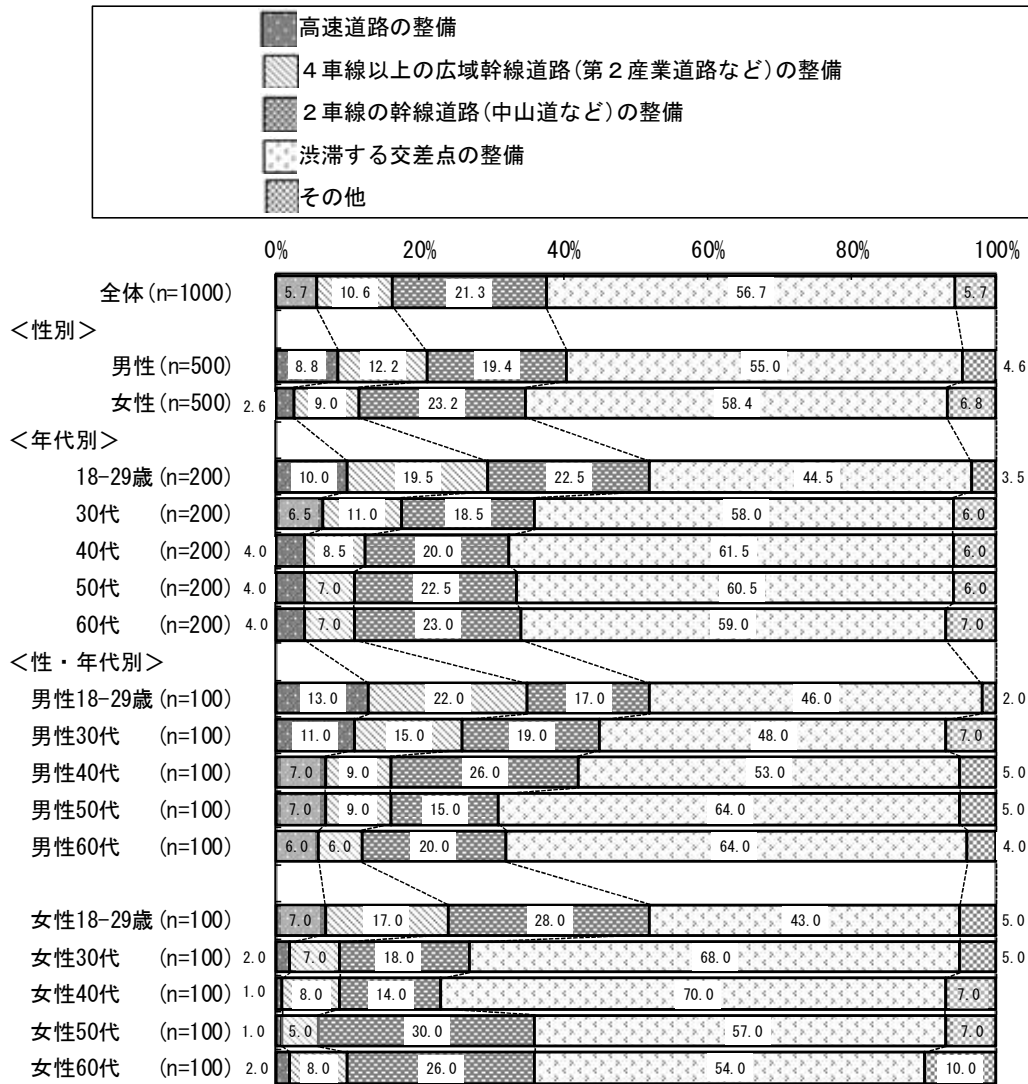
**【全体結果】「満足」(13%)と「どちらかといえば満足」(51%)を合わせた『満足(計)』は、64%であった。**

◎年代別で見ると、『満足(計)』は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で78%となった。

### Q12. どのような種類の道路の整備を積極的に進めていけばよいと思うか

現在、さいたま市では人口減少や高齢化社会に対応した都市計画道路の見直しを行なっています。低炭素型のコンパクトなまちづくりを実現するために、どのような種類の道路の整備を、積極的に進めていけばよいと思いますか。

以下の中から、あなたが、もっとも積極的に進めたほうがよいと思うものを1つ選んでください。



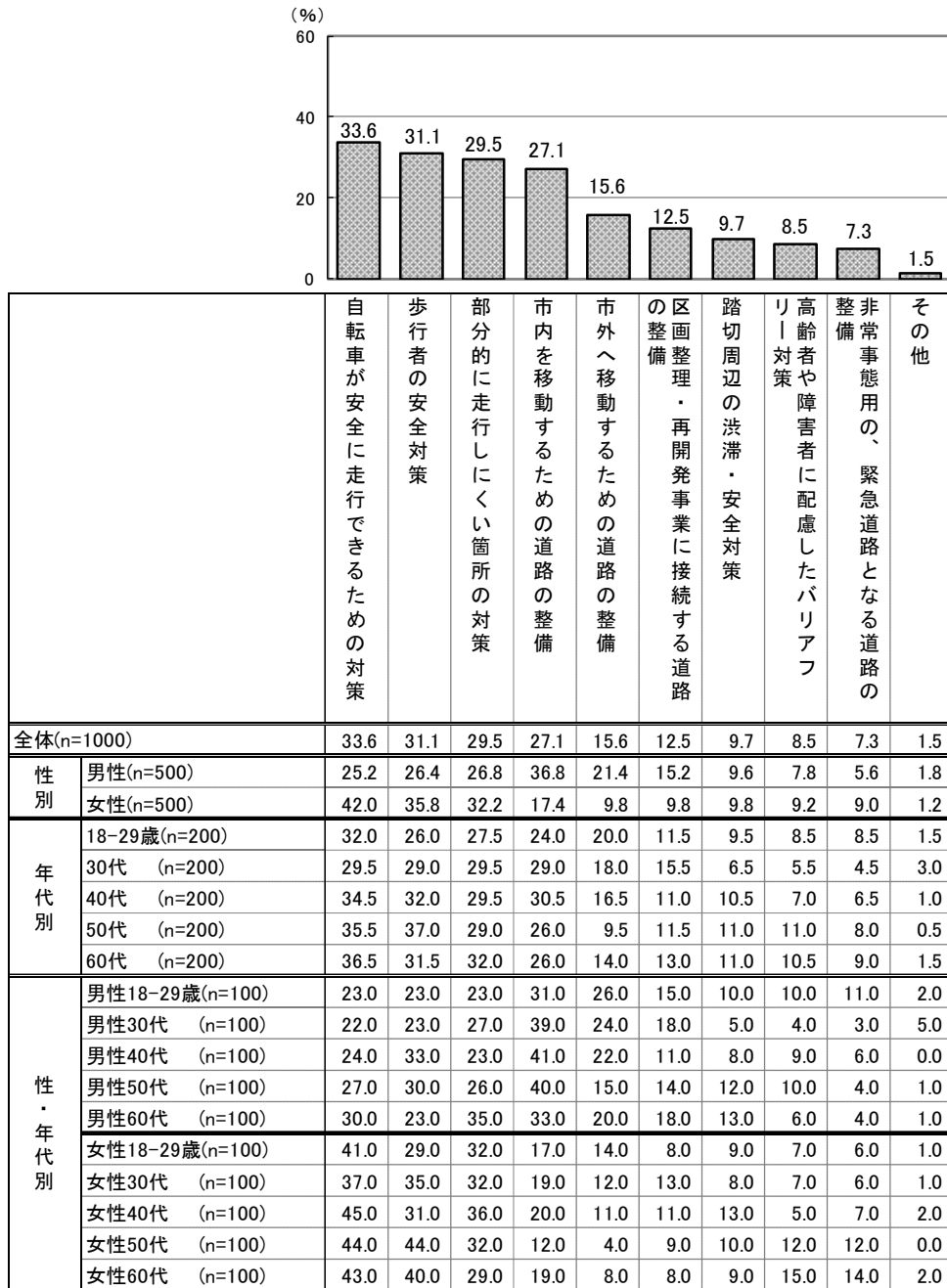
**【全体結果】「高速道路の整備」が6%、「4車線以上の広域幹線道路(第2産業道路など)の整備」が11%、「2車線の幹線道路(中山道など)の整備」が21%、「渋滞する交差点の整備」が57%であった。**

◎年代別で見ると、「4車線以上の広域幹線道路(第2産業道路など)の整備」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で20%となった。

◎性・年代別で見ると、「渋滞する交差点の整備」は、男性では年代が上がるにつれ高くなり、50代以上で64%となった。

**Q13. さいたま市内の幹線道路について、優先的に取り組んだほうがよい課題（複数回答）**

さいたま市内の幹線道路について、今後、優先的に取り組んだほうがよい課題は何だと思いますか。以下の中から、あなたが、より優先的に取り組んだほうがよいと思うものを2つまで選んでください。



**【全体結果】「自転車が安全に走行できるための対策」が34%で最も高く、「歩行者の安全対策」(31%)、「部分的に走行しにくい箇所の対策」(30%)が続いた。**

◎性別で見ると、「自転車が安全に走行できるための対策」、「歩行者の安全対策」は、女性が男性よりも10ポイント以上高かった。また、「市内を移動するための道路の整備」、「市外へ移動するための道路の整備」は、男性が女性よりも10ポイント以上高かった。

**【応急手当講習に関するアンケート】**

**Q14. さいたま市が開催する応急手当講習の受講率**

あなたは、さいたま市が開催する応急手当講習を受講したことがありますか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



**【全体結果】「受講したことがある」(14%)と「講習を実施していることは知っているが、受講したことはない」(24%)を合わせた『認知度』は、37%であった。**

◎性・年代別で見ると、『認知度』は、女性では年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、60代で53%となった。



(Q14で、「受講したことがある」、「講習を実施していることは知っているが、受講したことはない」を回答した人が対象)

**Q15. さいたま市が開催する応急手当講習の認知経路（複数回答）**

あなたは、さいたま市が開催する応急手当講習のことを、何で知りましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

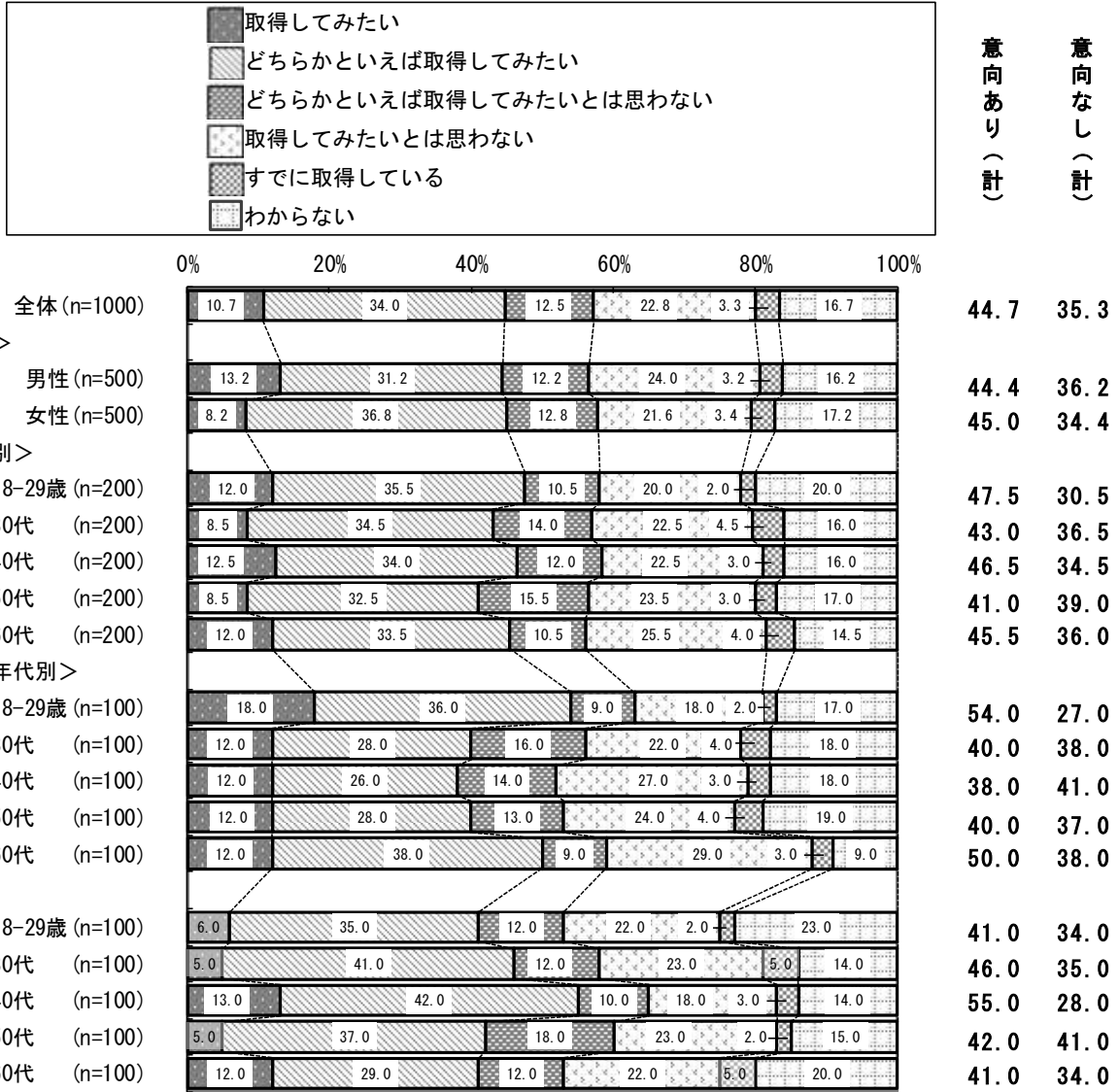


**【全体結果】「市報さいたま」が54%で最も高く、「市ホームページ」(18%)、「消防訓練指導、防災訓練に参加したとき」(12%)が続いた。**

◎性別で見ると、「市報さいたま」は、女性(61%)が男性(46%)よりも15ポイント高かった。

**Q16. 「応急手当普及員」資格の取得意向**

あなたは、「応急手当普及員」の資格を取得したいと思いますか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

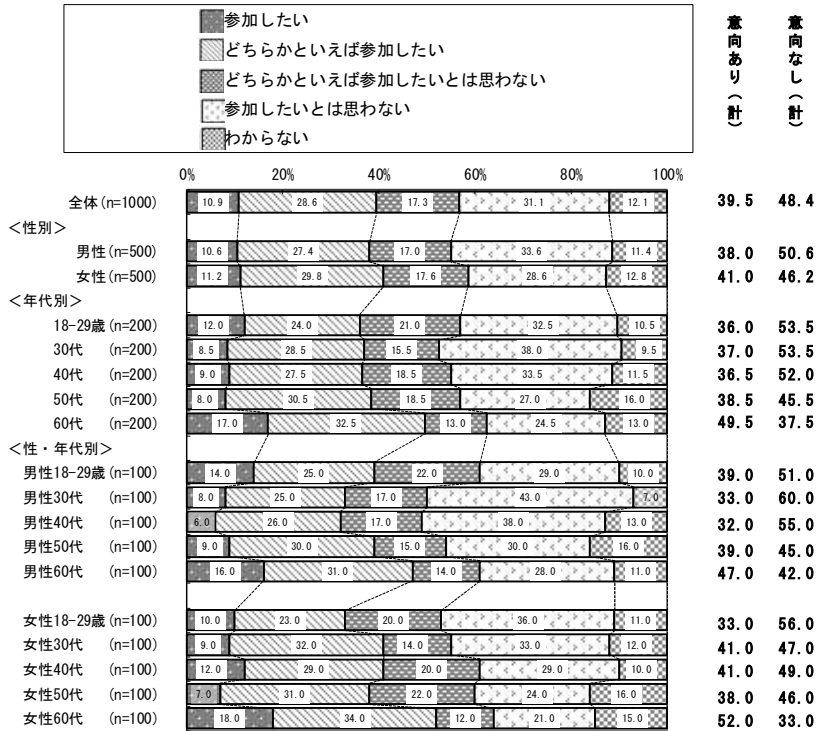


**【全体結果】「取得してみたい」(11%)と「どちらかといえば取得してみたい」(34%)を合わせた『意向あり(計)』は、45%であった。**

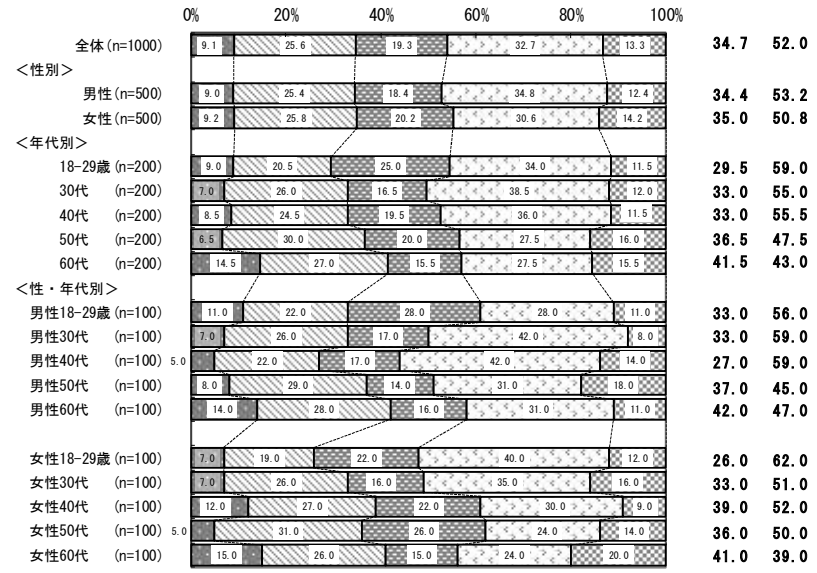
### Q17. 講習受講料が有料となった場合の参加意向

さいたま市の「応急手当講習」や「応急手当普及員講習」は、現在無料で行っています。今後、講習受講料が500円～1,000円程度と有料となった場合、あなたは参加したいと思いますか。以下の中から、あてはまるものを1つずつ選んでください。

#### 1. 応急手当講習



#### 2. 応急手当普及員講習

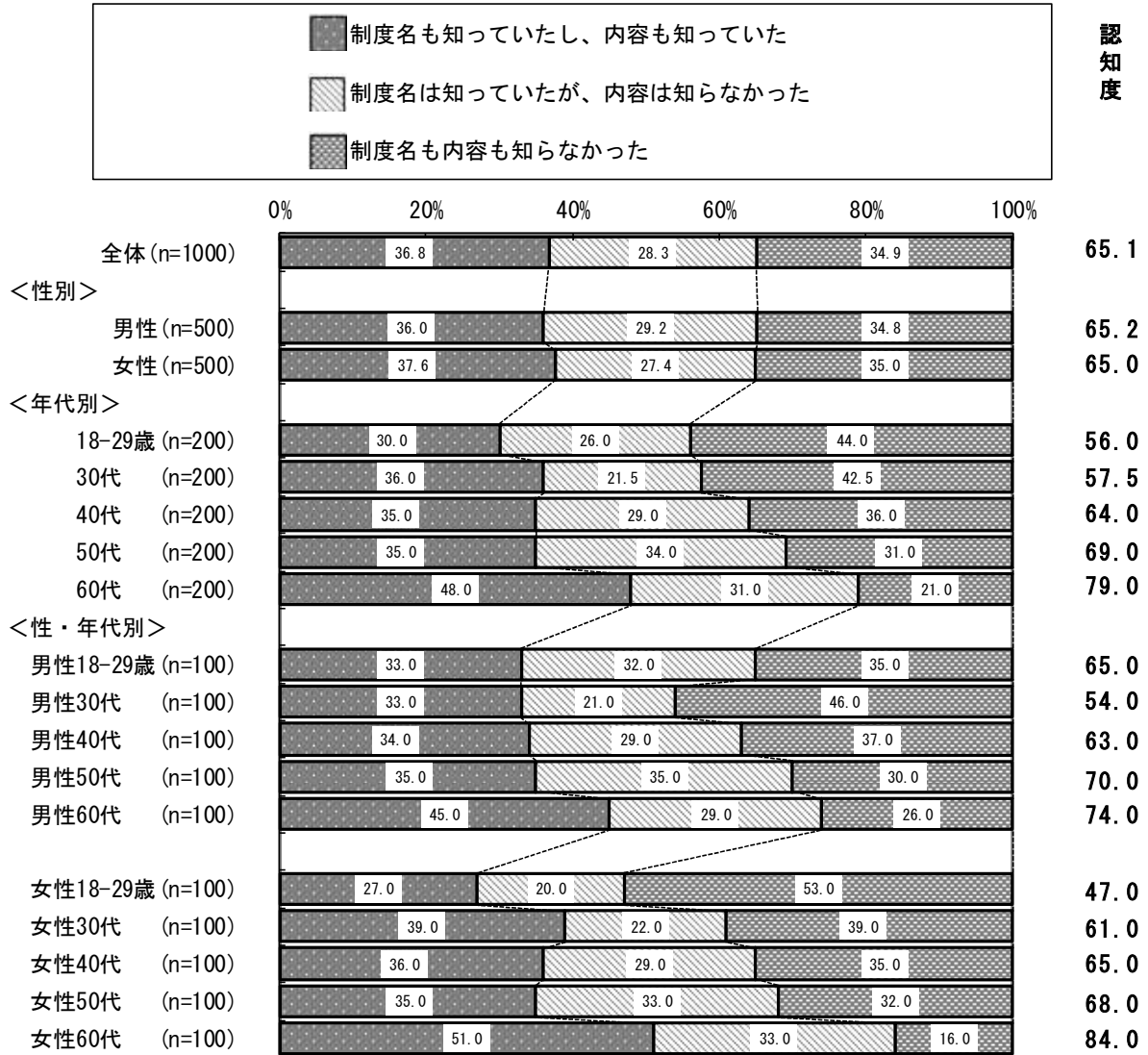


**【全体結果】** 応急手当講習について、「参加したい」(11%)と「どちらかといえば参加したい」(29%)を合わせた『意向あり(計)』は、40%であった。  
 また、応急手当普及員講習について、「参加したい」(9%)と「どちらかといえば参加したい」(26%)を合わせた『意向あり(計)』は、35%であった。

**【成年後見制度に関するアンケート】**

**Q18. 成年後見制度の認知度**

あなたは、成年後見制度のことを知っていましたか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



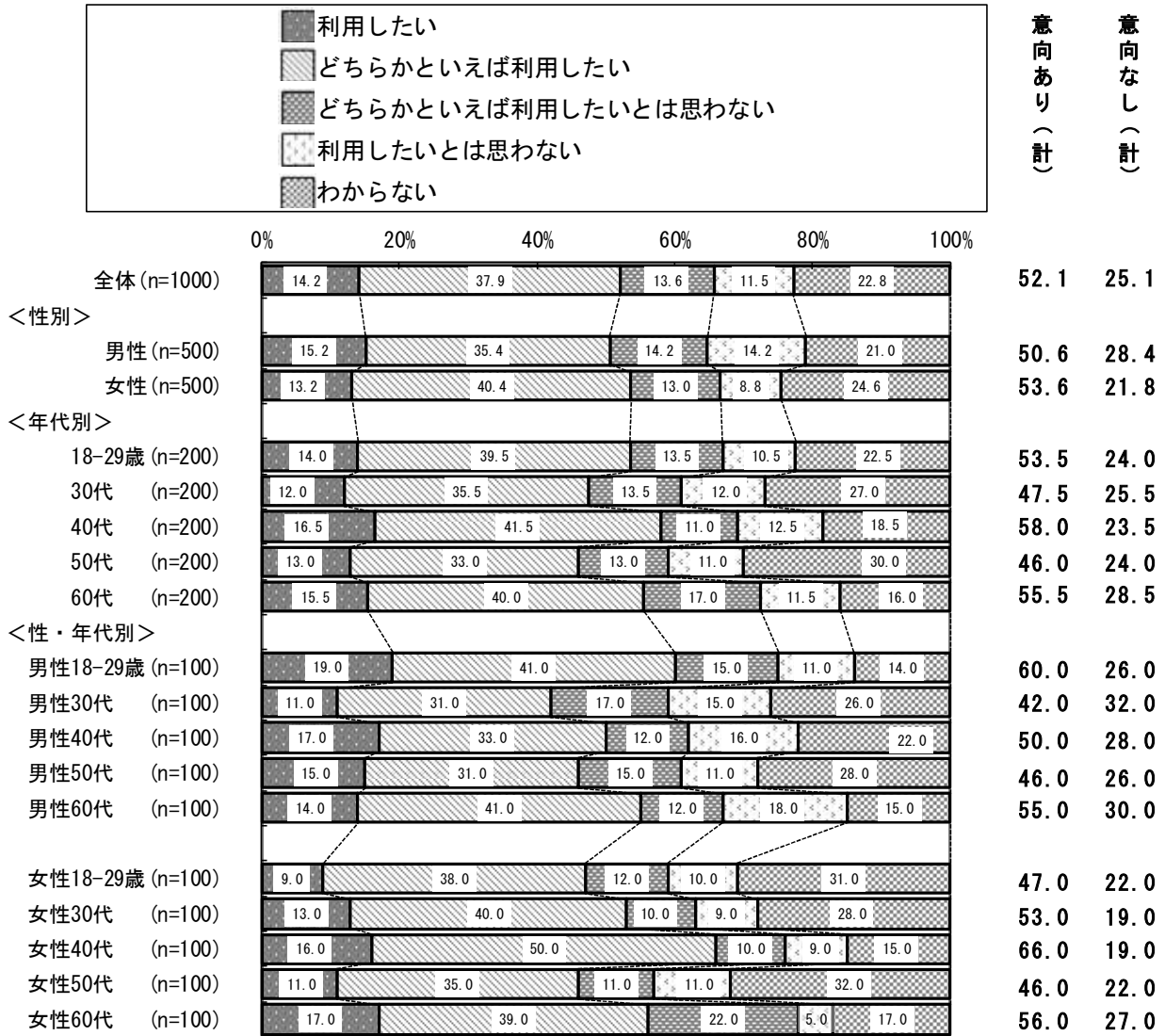
**【全体結果】**「制度名も知っていたし、内容も知っていた」(37%)と「制度名は知っていたが、内容は知らなかった」(28%)を合わせた『認知度』は、65%であった。

◎年代別で見ると、『認知度』は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で79%となった。

**Q19. 今後、成年後見制度を利用したいか**

あなたやあなたの親族が認知症などにより、物事を判断する能力が十分でなくなった時に、あなたは成年後見制度を利用したいと思いますか。

以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

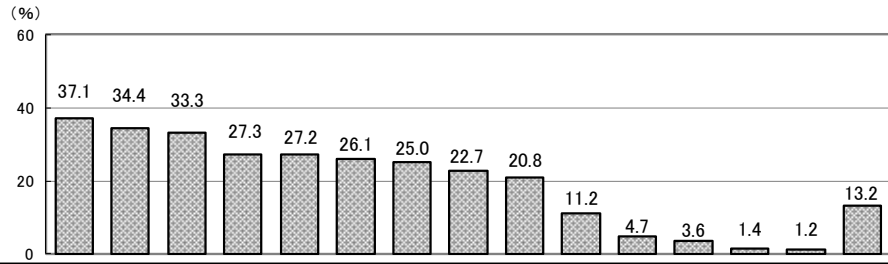


**【全体結果】「利用したい」(14%)と「どちらかといえば利用したい」(38%)を合わせた『意向あり (計)』は、52%であった。**

◎性・年代別で見ると、『意向あり (計)』は、男性18-29歳(60%)と、女性40代(60%)で6割を超えた。

**Q20. 成年後見制度について不安に思うこと（複数回答）**

あなたが、成年後見制度について不安に思うことは何ですか。  
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	う制度を利用するための手続きが複雑そうである	制度の内容や利用方法がわからない	相談窓口がわからない	援助者との間で何かしらのトラブルが発生する恐れがある	他人に財産状況や生活状況を知られることに抵抗がある	援助者に、住居、医療、介護等に関する法律手続きや財産管理を委ねることが不安	援助者を誰に任せたらいいかわからない	負担がかかると感じる	制度の利用を始めるタイミングがわからない	援助者が制度について理解していない	制度自体によりイメージがない	制度を利用する必要性がわからない	制度そのものに反対である	その他	不安に思うことはない	
全体(n=1000)	37.1	34.4	33.3	27.3	27.2	26.1	25.0	22.7	20.8	11.2	4.7	3.6	1.4	1.2	13.2	
性別	男性(n=500)	34.0	35.0	32.8	25.2	21.4	24.0	22.2	19.2	19.2	12.2	5.4	3.6	2.0	1.2	15.6
	女性(n=500)	40.2	33.8	33.8	29.4	33.0	28.2	27.8	26.2	22.4	10.2	4.0	3.6	0.8	1.2	10.8
年代別	18-29歳(n=200)	34.0	35.5	31.5	17.5	19.0	16.5	21.0	17.0	16.5	11.0	4.0	6.0	2.5	0.0	16.0
	30代(n=200)	39.0	34.0	39.0	31.0	25.5	26.5	23.5	22.5	21.5	13.0	6.0	2.5	1.0	1.0	14.0
	40代(n=200)	36.0	37.0	36.0	32.5	31.0	26.0	29.5	28.0	26.0	12.0	4.5	3.5	2.5	2.0	12.0
	50代(n=200)	37.5	38.0	35.5	25.0	28.0	33.0	26.5	20.0	18.5	11.5	2.5	3.0	0.5	1.0	13.5
	60代(n=200)	39.0	27.5	24.5	30.5	32.5	28.5	24.5	26.0	21.5	8.5	6.5	3.0	0.5	2.0	10.5
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	31.0	34.0	30.0	15.0	15.0	21.0	17.0	14.0	18.0	12.0	5.0	6.0	3.0	0.0	15.0
	男性30代(n=100)	38.0	31.0	39.0	30.0	23.0	25.0	22.0	17.0	18.0	15.0	8.0	3.0	2.0	2.0	20.0
	男性40代(n=100)	30.0	35.0	34.0	30.0	28.0	24.0	29.0	25.0	28.0	15.0	7.0	2.0	4.0	2.0	13.0
	男性50代(n=100)	35.0	40.0	33.0	21.0	13.0	23.0	22.0	17.0	17.0	9.0	0.0	4.0	0.0	0.0	18.0
	男性60代(n=100)	36.0	35.0	28.0	30.0	28.0	27.0	21.0	23.0	15.0	10.0	7.0	3.0	1.0	2.0	12.0
	女性18-29歳(n=100)	37.0	37.0	33.0	20.0	23.0	12.0	25.0	20.0	15.0	10.0	3.0	6.0	2.0	0.0	17.0
	女性30代(n=100)	40.0	37.0	39.0	32.0	28.0	28.0	25.0	28.0	25.0	11.0	4.0	2.0	0.0	0.0	8.0
	女性40代(n=100)	42.0	39.0	38.0	35.0	34.0	28.0	30.0	31.0	24.0	9.0	2.0	5.0	1.0	2.0	11.0
女性50代(n=100)	40.0	36.0	38.0	29.0	43.0	43.0	31.0	23.0	20.0	14.0	5.0	2.0	1.0	2.0	9.0	
女性60代(n=100)	42.0	20.0	21.0	31.0	37.0	30.0	28.0	29.0	28.0	7.0	6.0	3.0	0.0	2.0	9.0	

**【全体結果】「制度を利用するための手続きが複雑そうである」が37%で最も高く、「制度の内容や利用方法がわからない」(34%)、「相談窓口がわからない」(33%)が続いた。**

◎性別で見ると、「他人に財産状況や生活状況を知られることに抵抗がある」は、女性(33%)が男性(21%)よりも12ポイント高かった。

### 3 調査票（アンケート画面）

SC1  
必須

あなたのお住まいをお答えください。

- 1.さいたま市西区
- 2.さいたま市北区
- 3.さいたま市大宮区
- 4.さいたま市見沼区
- 5.さいたま市中央区
- 6.さいたま市桜区
- 7.さいたま市浦和区
- 8.さいたま市南区
- 9.さいたま市緑区
- 10.さいたま市岩槻区
- 11.その他（具体的に）

SC2  
必須

あなたの性別と年齢をお答えください。

- 男性 18歳未満
- 男性 18～29歳
- 男性 30～39歳
- 男性 40～49歳
- 男性 50～59歳
- 男性 60～69歳
- 男性 70～79歳
- 男性 80歳以上
- 女性 18歳未満
- 女性 18～29歳
- 女性 30～39歳
- 女性 40～49歳
- 女性 50～59歳
- 女性 60～69歳
- 女性 70～79歳
- 女性 80歳以上



さいたま市への愛着について、質問します。

**Q1** あなたは、さいたま市が、知人友人におすすめしたくなるようなまちだと思いませんか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. さっぱりわからない

Q2 あなたは、知人友人に、さいたま市のどのような魅力をおすすめしたいですか。  
必須 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 自然の豊かさ
- 2. 治安のよさ
- 3. 自然災害の少なさ
- 4. 子育てのしやすさ
- 5. 教育環境のよさ
- 6. 買い物のしやすさ
- 7. 交通の便のよさ
- 8. 医療の充実
- 9. 公園の充実
- 10. 飲食店の充実
- 11. 農産物の充実
- 12. スイーツ店の充実
- 13. 大型商業施設の充実
- 14. 文化・芸術を楽しめるスポットが多いこと
- 15. スポーツが盛んであること
- 16. 市外から人が来る観光スポットが多いこと
- 17. コンサートやイベントの充実
- 18. 公共施設の利用のしやすさ

食品ロスについて、質問します。

**Q3**    さいたま市では、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品）削減の  
**必須**    な取組を行っています。  
以下の中から、知っていた取組を**すべて**選んでください。

- 1. Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくスープ!）（※1）
- 2. チームEat All（※2）
- 3. フードドライブ（※3）
- 4. その他
- 5. どれも知らなかった

※1) Saitama Sunday Soup（日曜日は食べつくスープ!）・・・おいしく楽しく食品ロスを減

**Q4** あなたは、ふだん食品ロス削減のため、どのような工夫をしていますか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 食べきれぬ量だけ買うようにしている
- 2. 冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している
- 3. 食べきれぬ量だけ作るようにしている
- 4. フードドライブを利用している
- 5. 外食時に食べきれぬ量だけ注文している
- 6. 余った食材も調理して使いきるようにしている
- 7. 食材が傷む前に食べきるようにしている
- 8. お店の食品ロスを減らすために、賞味期限の近いものを買うようにしている
- 9. フードシェアリングサービス（※）で買い物をしている
- 10. その他
- 11. 覚えていない／わからない

**Q5** あなたが、食品ロス削減の工夫をするうえで、妨げとなるものは何ですか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. メリットがわからない
- 2. 食品ロスが何なのかよくわからない
- 3. やり方がわからない
- 4. お金がかかりそう
- 5. 気が進まない・面倒
- 6. 時間がない
- 7. そもそも食品ロスが出ない
- 8. その他

節水の意識と行動について、質問します。

**Q6** あなたは、ふだんから節水を意識していますか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 意識している
- 2. どちらかといえば意識している
- 3. どちらかといえば意識していない

**Q7** あなたは、節水機器（※）を購入したことがありますか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。  
複数回購入したことがある場合は、直近の購入についてお答えください。

※ 節水機能を有する機器のこと。節水型蛇口、節水型シャワーヘッド、節水型便器など。

- 1. 1年以内に節水機器を購入した
- 2. 1年以上前に節水機器を購入した
- 3. 購入したことはないが、今後節水機器の購入を予定している
- 4. その他

**Q8** あなたは、昨年同時期（令和4年2月頃）に比べ、節水意識に変化はありましたか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 節水意識が高まった
- 2. どちらかといえば節水意識が高まった
- 3. どちらかといえば節水意識が下がった
- 4. 節水意識が下がった

さいたま市内の道路整備に関して、質問します。

**Q9** あなたが、ふだんさいたま市内で利用している主な交通手段は何ですか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを**2つまで**選んでください。

- 1. 自動車、バイク
- 2. バス
- 3. 鉄道
- 4. 自転車
- 5. その他

**Q10** あなたが、Q9で選んだ交通手段を利用する主な目的は何ですか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 通勤
- 2. 通学
- 3. 買い物
- 4. 娯楽・レジャー
- 5. 通院
- 6. 業務(配達・配送)

**Q11** あなたは、現在のさいたま市内の主要な道路(国、県道や交通量の多い市道)の整備  
**必須** どう思いますか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 満足
- 2. どちらかといえば満足
- 3. どちらかといえば不満

**Q12** 現在、さいたま市では人口減少や高齢化社会に対応した都市計画道路の見直しを  
**必須** すすめています。低炭素型のコンパクトなまちづくりを実現するために、どのような種類の道路の整備を積極的に進めていけばよいと思いますか。  
以下の中から、あなたが、もっとも積極的に進めたほうがよいと思うものを1つ選んでください。

- 1. 高速道路の整備
- 2. 4車線以上の広域幹線道路(第2産業道路など)の整備
- 3. 2車線の幹線道路(中山道など)の整備
- 4. 支線道路の整備

**Q13** **必須** さいたま市内の幹線道路について、今後、優先的に取り組んだほうがよい課題か。  
以下の中から、あなたが、より優先的に取り組んだほうがよいと思うものを2つ選  
さい。

- 1. 市外へ移動するための道路の整備
- 2. 市内を移動するための道路の整備
- 3. 区画整理・再開発事業に接続する道路の整備
- 4. 非常事態用の、緊急道路となる道路の整備
- 5. 部分的に走行しにくい箇所の対策
- 6. 踏切周辺の渋滞・安全対策
- 7. 歩行者の安全対策
- 8. 高齢者や障害者に配慮したバリアフリー対策

応急手当講習について、質問します。

さいたま市では、心肺蘇生法やAEDの使用法、止血法などを身につけていただくための応急手当講習

す。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

■ [定期応急手当講習 開催日程と受付状況](#)

**Q14** **必須** あなたは、さいたま市が開催する応急手当講習を受講したことがありますか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 受講したことがある
- 2. 講習を実施していることは知っているが、受講したことはない



**Q15** あなたは、さいたま市が開催する応急手当講習のことを、何で知りましたか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 市ホームページ
- 2. 「市報さいたま」
- 3. 「市報さいたま」以外の情報誌、冊子
- 4. TwitterなどのSNS
- 5. 消防訓練指導、防災訓練に参加したとき
- 6. 商業施設などで行われたイベント（消防フェアなど）に参加したとき

さいたま市には、「応急手当普及員」の資格取得制度があり、応急手当普及員になると、講師として勤務する事業所等で応急手当講習を行うことができます。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

■ [応急手当普及員講習のご案内](#)

**Q16** あなたは、「応急手当普及員」の資格を取得したいと思いますか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 取得してみたい
- 2. どちらかといえば取得してみたい
- 3. どちらかといえば取得してみたいとは思わない
- 4. 取得してみたいとは思わない

**Q17**  
**必須**

さいたま市の「応急手当講習」や「応急手当普及員講習」は、現在無料で行って講習受講料が500円～1,000円程度と有料となった場合、あなたは参加したいと以下の中から、あてはまるものを1つずつ選んでください。



1.	2.	3.	4.	5.
参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したいとは思わない	参加したいとは思わない	わからない

成年後見制度について、質問します。

成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分でない権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に保護し、支援するための制度です。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

■ [成年後見制度利用支援事業について](#)

**Q18**  
**必須**

あなたは、成年後見制度のことを知っていましたか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 制度名も知っていたし、内容も知っていた
2. 制度名は知っていたが、内容は知らなかった

**Q19** あなたやあなたの親族が認知症などにより、物事を判断する能力が十分でなく  
**必須** たは成年後見制度を利用したいと思いませんか。  
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 利用したい
- 2. どちらかといえば利用したい
- 3. どちらかといえば利用したいとは思わない
- 4. 利用したいとは思わない

**Q20** あなたが、成年後見制度について不安に思うことは何ですか。  
**必須** 以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。

- 1. 制度の内容や利用方法がわからない
- 2. 相談窓口がわからない
- 3. 制度を利用するための手続きが複雑そうである
- 4. 援助者に、住居、医療、介護等に関する法律手続きや財産管理を委ねることが不安
- 5. 他人に財産状況や生活状況を知られることに抵抗がある
- 6. 援助者が制度について理解していない
- 7. 援助者を誰に任せたらいいかわからない
- 8. 援助者との間で何かしらのトラブルが発生する恐れがある
- 9. 制度を利用するために費用（経済的負担）がかかる
- 10. 制度の利用を始めるタイミングがわからない
- 11. 制度そのものに反対である
- 12. 制度自体によいイメージがない

このさいたま市インターネット市民意識調査業務の委託に要する経費は196万円です。